

たんぽぽ研修会 アンケート集計表

<日 時> 令和6年9月27日(金) 15:00～16:30

<場 所> (ハイブリッド開催)
寒河江市技術交流プラザ 第一研修室 / リアルタイム配信 (Zoomミーティング)

<テーマ> ～First and Last and Alwaysで考える摂食嚥下アプローチ～

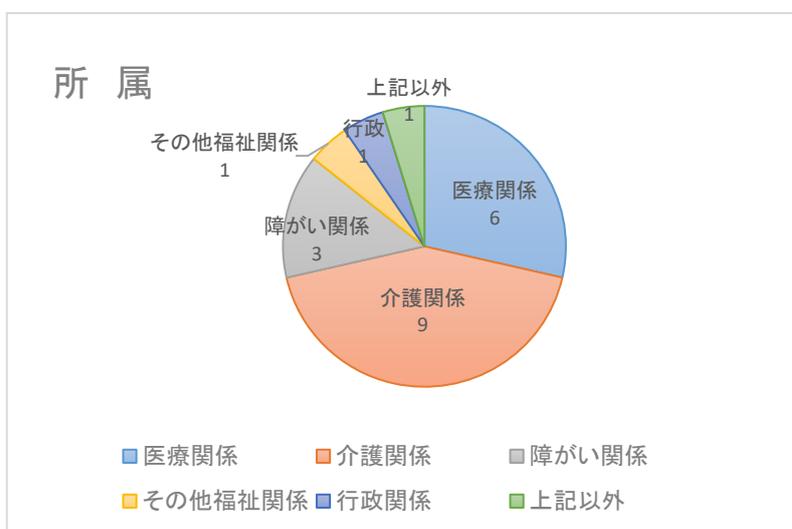
<講 師> 昭和大学歯学部 口腔衛生学講座
准教授 渡邊 賢礼 氏

<参加者> 19 事業所 (事前申込)
集合 13人・オンライン 21人 ⇒ 実参加者：約 30 人
欠席者：4人

<回答数> 21件 (集合 9件、オンライン 12件)

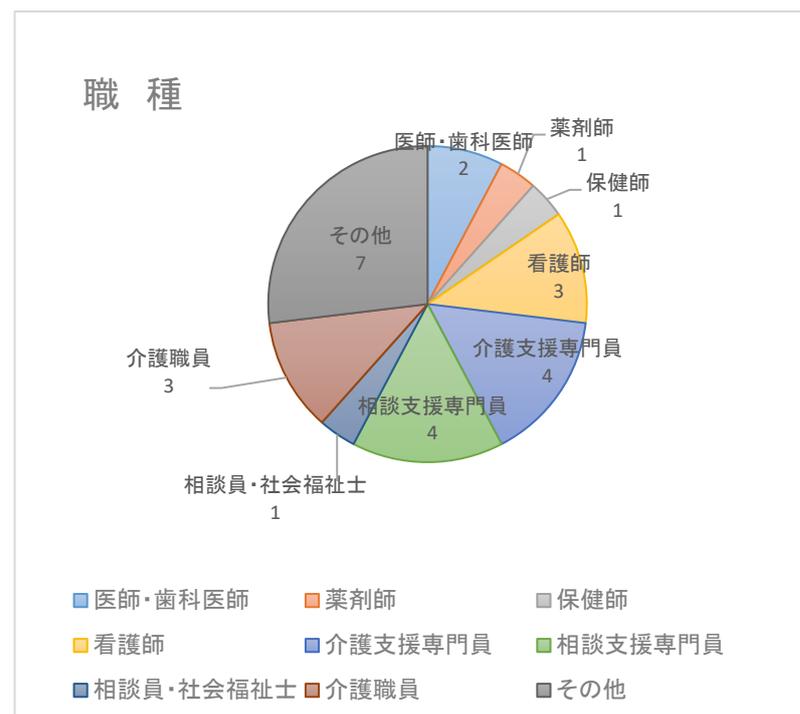
1 所属

所 属	数
医 療 関 係	6
介 護 関 係	9
障 が い 関 係	3
そ の 他 福 祉 関 係	1
行 政 関 係	1
上 記 以 外	1
合 計	21



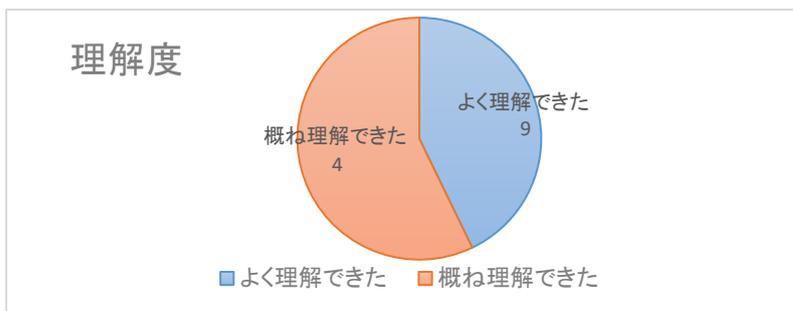
2 職種(複数選択)

職 種	数
医師・歯科医師	2
薬 剤 師	1
保 健 師	1
看 護 師	3
介護支援専門員	4
相談支援専門員	4
相談員・社会福祉士	1
介 護 職 員	3
そ の 他	7
合 計	26



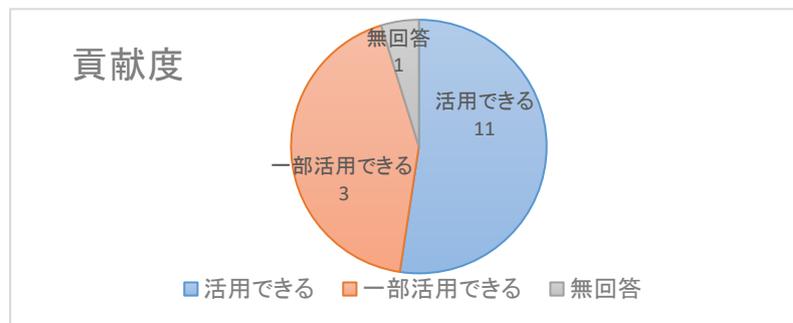
3 研修会内容の理解度

理 解 度	数
よく理解できた	9
概ね理解できた	12
合 計	21



4 研修会内容の貢献度

貢 献 度	数
活用できる	11
一部活用できる	9
無 回 答	1
合 計	21



5 口腔機能の維持・向上や摂食嚥下の支援で悩むことがあればお書きください。

- 老人施設にて口腔ケア時に、スポンジブラシ、指、全部吸ってしまう、吸啜反応が強い方に対する支援・ケアをどのようにしていけばよいか。そもそも拒否反応がひどい方に対する支援・ケアの仕方を知りたいです。（医療）
- むせる⇒食形態変更⇒食事内容変更⇒摂取栄養量低下⇒低栄養といったように悪い流れができるケースがあります。
補助食品（ゼリーやドリンク等）に頼らないアプローチがあれば・・・。（介護）
- 食事介助を見ていると無理に食べさせるような場面を見ることがあります。口の開き方が悪い入居者への対応の仕方をもっと学びたいと思っています。（介護）

6 今回のテーマに限らず日頃課題に感じていること、今後希望するテーマなどがあればお書きください。

- 在宅のケアプランに薬剤師も混ぜてもらいたい。国で推奨している在宅を推奨し、すぐ施設に預けない介護を考えてほしい。健康な人のケアが少なく感じるので健康な人のケアも考えてほしい。（医療）
- 栄養・リハ・口腔の一体化が進むようになってきました。
取り組みの進め方や実際などが分かるようなテーマを希望します。（介護）
- 摂食嚥下の現場で戸惑うことなど取り上げてほしいです。看取りについてなども知りたい。
どの時期まで経口摂取できるか、家族とのやり取りなど（介護）

